

平成26年11月28日（金）

当金庫松岡理事長がパネリストとして講演会に参加しました。

津山信用金庫

平成26年10月25日（土）に加茂光陽会多目的ホールで行われた第7回文化講演会に、当金庫松岡理事長がパネリストとして参加し、「生きがいのある豊かなまち津山」をテーマにふるさとの活性化について議論を行いました。

ディスカッションで松岡理事長は、「住民が地元をよく知り、誇りと愛着をもつことが非常に重要である。」「外とのつながりのある企業が成功しているように感じる。できるだけ津山の外に出かけ、外の人と会って話をしてほしい。」「雇用を増やすため、エコノミックガーデンに取り組んでいきたい。」と話しました。

作州地域に本店を有する唯一の金融機関として、当金庫役職員（165名）が地元をよく知るため平成27年2月に行われる「美作の国つやま検定」を受験することとしました。

また、当庫つしん未来塾塾生の方々により幅広い視野・新しい視点を持っていただく契機になればと思い、11月12日（水）に開催された「信金発！地域発見フェア（全国ビジネスフェア）」の日帰り視察研修を行いました。

*エコノミックガーデンとは、「起業家精神あふれる地域の中小企業が活躍できるビジネス環境を創出する」こととされています。行政、経済団体、経営者、学校、市民団体、金融機関など様々な機関や人が連携・協力することで地域が一体となった取り組みとなり、より効果的に実施することができるといわれています。



パネルディスカッション写真（提供）（株）津山朝日新聞社

作州地域の活性化応援信用金庫



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫



津山信用金庫

